

田んぼダムによる洪水防止 ～水害に強い地域づくりを目指して～

—洪水防止機能—

新潟県（農地部）



洪水を防止・軽減する水田
(新潟県村上市神林)

新潟県は、低平地が多く、以前から大雨が降ると洪水などの被害を受けることが多かった。

平成14年に旧神林村（村上市）で下流域の集落から上流域の集落に呼びかけ、上流の水田に雨水をためる「田んぼダム」の取組が始まった。水田の洪水防止機能※を強化するこの取組は年々拡大しており、令和2年度は新潟県内17市町村約1万6千haで取り組まれている。

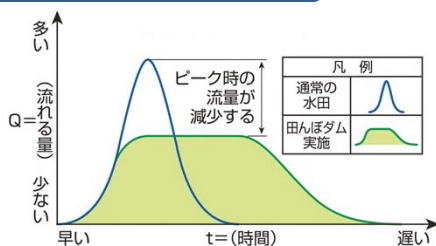


新潟県村上市ほか16市町村

※ 水田の洪水防止機能とは

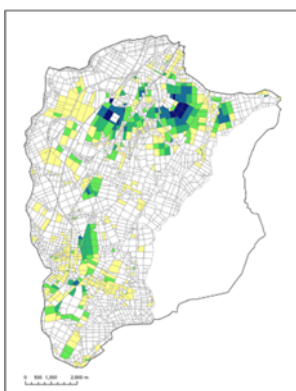
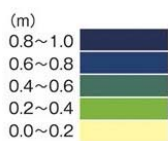
水田に一時的に雨水をため徐々に排水することで洪水を防止・軽減する機能。

雨水の流出抑制イメージ図

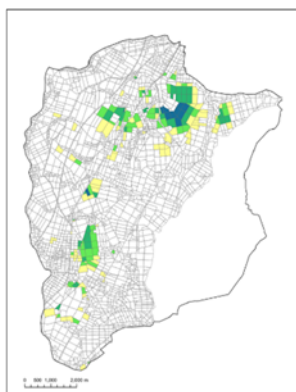
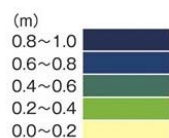


見附市貝喰川流域のシミュレーション事例

田んぼダムを実施しない場合



田んぼダムを実施した場合



〔洪水防止〕

「田んぼダム」は、洪水防止機能を強化するため、水田の排水口に調整板などを設置して水の流出抑制を行い、雨水を一時的に水田にため徐々に排水することで洪水を防止・軽減する取組。これにより、多くの農地・農作物への浸水被害防止の他、住宅等への洪水被害軽減も期待できる。

見附市貝喰川流域の浸水シミュレーション（新潟県）の結果、田んぼダムを実施することで、約59%浸水面積が減少し、豪雨当日の洪水被害を軽減させることが明らかとなっている。

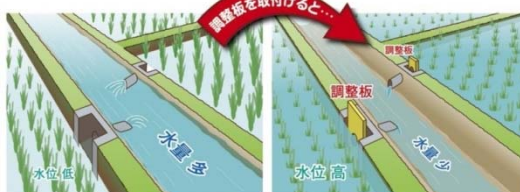
〔地域社会の振興〕

田んぼダム活動を集落全体で取り組むことにより、農家と非農家の連携を深め、地域の防災意識の啓発が図られている。

新潟県では、関係機関との情報共有を図りながら、多面的機能支払交付金による取組の推進等、地域への普及啓発を進め、田んぼダムの拡大を図り、水害に強い地域づくりを目指している。



排水口より小さな穴の開いた調整板を設置



調整板が無い場合

調整板を設置した場合

《新潟県農村環境課ホームページ》

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/nousonkankyot/banbodam.html>